

湯布院

第 59 号

発 行・湯布院駐屯地後援会

印刷所・大野印刷株式会社

第八代西部方面特科隊長着任

壁村 正照 一等陸佐



第八代西部方面特科隊長兼ねて第三十二代湯布院駐屯地司令に壁村正照一等陸佐が着任

壁村正照一等陸佐は、研究本部、第六特科連隊長、自衛隊群馬地方協力本部長、東北方面總監部情報部長等の要職を歴任され七月一日付をもって着任されました。

壁村一佐は、着任式において最初に四月に発生した熊本地震で被災された隊員家族や関係者の方々へ心からお悔やみ申し上げるとともに、災害派遣の労をねぎらいました。また着任式の訓示において「明るく、前向きに」を要旨するとともに、西部方面特科隊の保有する地对艦ミサイル、多連装ロケット、二〇三ミリ自走榴弾砲の対艦火力や対地火力が日本の国の抑止力だと認識していると述べ、従って一緒にこの国の抑止力をしっかりと練成していきたいと思うと述べました。



初登庁時幕僚幹部及び各部隊長の出迎えを受ける壁村一佐



着任式において訓示を述べる壁村一佐



初度巡視において各部隊の状況を確認



着任後状況説明を受け、部隊の現状を確認



着任式における車両行進

第七代西部方面特科隊長 三宅優一等陸佐離任式

六月二十九日水湯布院駐屯地において、第七代西部方面特科隊長兼ねて第三十二代駐屯地司令として勤務された、三宅一佐の離任式が挙行了されました。

三宅一佐は、平成二十六年三月に着任され約二年四ヶ月の間、駐屯地のために尽力されました。特に特科隊長として「あくなき執念を燃やせ」を要望し部隊の精強化のため多大な成果を取られました。また部外行事等に積極的に参加され広報活動を通じ地域との相互理解を深め、防衛基盤の強化に多大な貢献をされました。

三宅一佐は、七月一日付をもって陸将補に昇任され、自衛隊東京地方協力本部長（東京へ）栄転されました。今後の、三宅将補の新任地でのご活躍とご健勝を祈念致します。



多数の隊員に見送られる三宅一佐



離任式における巡閲



湯布院駐屯地開設六十周年及び西部方面特科隊創隊十四周年記念行事

九月三日(土) 湯布院駐屯地開設六十周年及び西部方面特科隊創隊十四周年記念行事を実施しました。

式典では、大分県知事広瀬勝貞様をはじめ、大分県選出の国会議員多数の御来賓の御臨席を頂き盛大に挙行されました。式典の中で駐屯地司令(壁村一佐)は、西部方面特科隊は、陸上自衛隊の対艦火力及び対地火力を継続的に發揮できる任務に基づき我が国防衛のための厳しい訓練に励んでおります。皆様温かいご理解と協力を感謝いたしますと述べました。

観閲行進では、観閲部隊指揮官(石丸一等陸佐)を先頭に氣迫溢れる堂々の行進を披露し訪れた観衆を魅了しました。訓練展示戦闘訓練では対戦車ヘリコプタによる航空攻撃、迫力ある二〇三ミリ自走榴弾砲の空包射撃、重機関銃等を使用した空砲射撃で敵陣地を制圧するまでの模様を展示し部隊の威容を示しました。



記念式典の中で式辞を述べる湯布院駐屯地司令(壁村一佐)



巡閲を行う執行官



式典参列部隊



子供広場



装備体験乗車



装備品展示



訓練展示

駐屯地納涼大会

八月四日(木)、駐屯地納涼大会を開催しました。

始めに西部方面特科隊音楽部の演奏が行われ、午後六時、駐屯地曹友会長の開催宣言に続き駐屯地司令壁村一佐及び湯布院駐屯地後援会長長男男裕二郎氏が挨拶し、納涼大会が幕を開けた。

納涼大会は、「源流太鼓」の皆さんによる太鼓の力強い演奏や幻想的な笛の音で魅了し、また「当地アイドル」CHIMOの皆さんによる歌や踊りで華やかなステージで会場を盛り上げました。

隊員による「部隊対抗盆踊り」が始まると、各部隊は仮装衣装などで工夫を凝らした演出で踊り、会場を沸かせました。続いて総踊りが始まり、隊員や会場の皆さんも一緒にやぐらを中心に二重・三重の踊りの輪がで最高潮の盛り上がりを見せました。この他には、子供広場や花火広場なども開設するなど納涼大会は盛況のうちに終了しました。



部隊対抗盆踊りが始まると、様々な仮装衣装と踊りで会場を盛り上げる



納涼大会に合わせて家族間コミュニティを開き隊員家族と楽しい時を過ごす



ご当地アイドル、CHIMOの皆さんの歌と華やかなダンスで会場を盛り上げる



源流太鼓の皆さんによる力強い太鼓演奏で会場を魅了する



納涼大会開催にあたり挨拶を述べる駐屯地司令(壁村一佐)

新隊員等特技課程教育

西部方面特科隊は、九月九日(金)駐屯地体育館において、新隊員等特技課程教育の修了行事を実施しました。三十四人の新隊員は、教育隊で学んだ知識と技能を更なる向上を目指して特科隊内の各部隊へ配置されました。

◆優秀隊員の紹介

- 特科隊長賞
- 二等陸士 井上 勝也
- 射撃優秀賞
- 二等陸士 時枝 勇一
- 二等陸士 小谷謙史郎
- 二等陸士 氏田 竜貴
- 体力優秀賞
- 二等陸士 有村 千佳
- 二等陸士 関 晶太
- 二等陸士 高野 祐季



MLRS自走発射機の弾薬積載訓練を実施する隊員



二〇三mm自走榴弾砲の射撃準備を完了し射撃開始を待つ隊員

西部方面特科隊

第二一二特科大隊

第二一二特科大隊（大隊長香川二佐）は、洋上活動集合教育を実施しており、六月三日（木）からの第二期の教育を皮切りに現在まで計三期、延べ人員百九名が教育を終了しています。特に第三期においては、大隊長（香川二佐）自ら教育に参加し、隊員と肩を並べつ切琢磨磨して知識及び泳力強化に努めました。これに関連して大隊では、隊



洋上活動集合訓練に参加中の隊員、泳力の徹底向上

員個々の走力及び泳力の向上を目的として、RSRラン・スイム・ランの記録会を実施して日々練成に励んでいます。また、新たに装備される二〇mm迫撃砲の運用に向け従来より装備されている二〇三mm自走榴弾砲の実射射撃訓練も実施しつづ、二〇mm迫撃砲の習熟訓練を行い、任務を達成する為、訓練に励んでいます。



二〇mm迫撃砲による実射訓練

第二三二特科大隊

第二三二特科大隊（大隊長橋二佐）は、七月三日（日）から七月六日（水）までの間、日出生台演習場において「島嶼における師団に配属された特科大隊の行動」について平成二十八年度大隊訓練検閲を受閲しました。



敵を警戒しつつ射撃陸地へ移動するMLRS部隊

本検閲は、第二中隊を主力として、第一中隊より二個射撃班及び二個弾薬班、第三中隊より二個射撃班及び二個弾薬班を増強した修正部隊として実施しました。この際「指揮・幕僚活動」、「部隊の基本的行動」及び「隊員の基礎動作」を主要検閲項目として検し大隊長要望事項「任務を遂行、中隊長要望事項「力を集結せよ」を全員が肝に銘じ、戦闘の終始を通じて健在性の保持に努め、地対艦ミサイル連隊との連携射撃を整齊と行う等射撃任務を達成しました。



地対艦ミサイル連隊との連携射撃の態勢を整えるMLRS自走発射機

本部中隊

本部中隊（中隊長成迫二尉）は、八月十八日（木）から二十四日（水）の間、鹿児島県佐多対空射場において、重機関銃の実射射撃訓練を実施しました。

佐多対空射場は、重機関銃による対空射撃やヘリコプター搭載のドアガン射撃を実施しています。

今回の訓練については、実戦的な訓練を行うことで射撃能力の練度向上を図り、「組長・射手・弾薬手」に区分し地上に設置した重機関銃を対空に向け仮想的の小型模型飛行機を横行させている間に射撃を行いました。

目標となる小型模型飛行機を発見しそれに合わせて照準を定め果敢に狙い、一機でも多くの目標を撃墜させることに集中して実施

第三〇二観測中隊

第三〇二観測中隊（中隊長太田三佐）は、平成二十八年度の小隊・班検閲を五月から六月の間に三回に分けて実施しました。今年度は四月の熊本地帯対処の影響のある中、各小隊・班とも、小隊長・班長を核心として段階的に訓練を重ね、検閲に臨みました。

隊容検査では想定や各小隊・班長の要望事項等をしっかりと理解し、また車両点検においては、海上移動の処置が出来ました。基礎動作点検においては、組長の適切な射撃号令の下、重機関銃の射撃動作を行い、蒸し暑さや豪雨という厳しい気象条件の中、一人の脱走者もなく全隊員が気迫を持って任務を完了することができました。

本検閲の成果を踏まえ、改善を要する事項については、小隊・班訓練等を実施します。



パラキョダを展開し陸地構築をするP16レーダ

しました。

本部中隊では、これまで射撃訓練の練度向上のため射撃予習を実施し全力で取り組むことで部隊としての戦技能力の向上や若年隊員により多くの事を体験させることで、部隊が如何なる任務にも対応できるよう取り組んでまいります。



地上に設置した機関銃を対空に向け小型模型飛行機の目標に照準を合わせる隊員

正します。また、六月十三日（木）から八月二十四日（水）の間に中隊水泳検定を実施しました。

昨年度は、一級合格六十%の中隊目標をクリアし、今年度は一級合格七〇%を目標とし検定に臨みました。

今年度は、昨年度二級に合格した隊員に対し早期に検定を実施し、一級合格者その他の隊員の指導に充て、ほとんどの隊員が苦手とする立ち泳ぎを中心に練成を実施して、一級合格者を増加させることで目標を達成できるよう練成を継続していきます。

八月二十四日現在で、受験者一〇七名中六四名が一級合格で達成率六〇%でありましたが、二級の隊員も日々練成を重ねて練度の向上を図り、一級合格七〇%の中隊目標に向け引き続き努力していきます。



合格率の低い立ち泳ぎについて集中的に訓練する隊員

湯布院駐屯地業務隊

優良事業所 知事表彰受賞

六月十五日(水)、湯布院駐屯地は、危険物の安全管理に努め、その保安に関する施策の推進に協力した功績により、大分県知事(広瀬勝貞)より優良事業所として表彰されました。
湯布院駐屯地を代表して湯布院駐屯地業務隊長(今井二佐)が表彰式に参加しました。



表彰状を授けられる駐屯地業務隊長

演習場監視員会議

八月十八日(木)、第四十一回演習場民間監視員会議を実施しました。
日出生台演習場監視役者などの調整(各期一回実施)を実施して演習場の長期安定使用施策に資する情報交換等を行いました。

小野原地区神事

五月九日(月)、日出生台演習場高陣ヶ尾で実施された小野原地区馬頭観音祭の神事に湯布院駐屯地業務隊長・管理科長・演習場管理班長・渉外班長が参加し、今年度の演習場安定使用を祈願しました。



挨拶を述べる湯布院駐屯地業務隊長



日出生台演習場監視役者等との調整会議

災害対処協同訓練

七月五日(火)、駐屯地所在の第三六八施設中隊及び第一〇三施設直接支援隊湯布院派遣隊と災害派遣時における補給品(非常糧食・備蓄水・燃料)の交付訓練を実施しました。



災害派遣支援隊の要求により非常用糧食を交付する隊員



交付された非常用糧食を車両に積載する隊員



燃料及び非常用糧食を受領する隊員

駐屯地環境整備

五月十三日(金)、駐屯地における樹木の消毒を実施して、害虫等の発生を未然に防止するとともに、樹木の育成を保護し、駐屯地の環境維持に努めました。



樹木等に消毒液を散布する隊員

施設の維持管理



改修前



改修後

浴槽改修工事を実施した。第一幹部浴場

第三六八施設中隊

第三六八施設中隊（中隊長 石川一尉）は、四月の熊本地震において、福岡県での災害派遣活動に従事し、現地では主に道路の寸断箇所の啓開作業及び派遣部隊の宿営地の整備作業を実施しました。

五月には群前期総合隊務点検を受検し、服務指導の状況、蒸備用品等の適切な管理等、中隊の状況及び問題点の確認・指導を受けました。

六月の大分弾薬支処整備では溜舁の浚渫工事を通じて大分弾薬支処のニーズに合致する整備を実施しました。



大分弾薬支処整備において重機を使用し溜舁の浚渫工事を実施

七月の施設団災害対処訓練では、実働を伴って呼集から派遣準備完了までの行動を実施し、災害発生時における迅速な情報伝達・共有・関係部隊との連携・必要器材の準備を演練し、災害派遣に万全を期すことができました。



非常喫集により出勤準備の態勢を整える訓練部隊

また七月下旬には、施設群野外給食審査会に参加し、調理、野外炊具の取扱い・衛生管理等の審査を受け、炊事能力の向上を図りました。



野外給食審査会に参加し各番直項目に挑む器技参加部隊

この他、五月末から八月月上旬まで国際連合PKOアフリカ施設部隊能力早期展開支援に中隊から三名の指導員がケニアへ派遣され現地の重機操作員に対し、油圧ショベル及びドーザーなどの操作教育を実施し、現地操作員員の育成に貢献しました。

今後は定期整備、中隊検閲、鎮西演習等が控えておりますが、中隊一丸となり、中隊長要望事項である「目配り・気配り・心配り」を持つ各種訓練に挑む次第です。

第二〇一特科直接支援隊

第一〇一特科直接支援隊は、八月一日付で第八代隊長に「加藤清博三等陸佐」が着任しました。

加藤三佐は第七特科連隊第一特科大隊長（東千蔵）を前職とし、数々の指揮官を歴任されています。



着任の辞で「信頼される部隊・隊員であれ」「お互いに関心を持って」を要望される

加藤三佐は、八月二日（火）に実施された着任式において「信頼される部隊・隊員であれ」「お互いに関心を持って」の二点を要望しました。

第一〇一特科直接支援隊は隊長の要望事項を履行し更に充実発展するよう努力いたします。



着任式において巡閲を受ける加藤三等陸佐

第二〇三施設直接支援大隊 第一中隊湯布院派遣隊

第一〇三施設直接支援隊湯布院派遣隊（隊長 長濱武二尉）は、平成八月二十二日（月）から八月二十六日（金）の間、川内演習場にて実施された平成二十八年度大隊検閲を受閲しました。訓練内容については、今まで積み上げてきた中隊訓練内容及び主力に発揮できる場所であり先発隊及び主力の誘導、施設構築、警戒・自衛戦闘等一連の状況下で実施しました。



警戒前進する部隊

今回の訓練検閲に備え、中隊訓練でいろいろな場面を想定し訓練を重ねてきたが、特に進入要領を実施し、夜間進入での基準である車両間隔、各隊員による敵を意識した行動、車長・助手による確実な誘導等を練成しました。



負傷者発生時の救護要領の手順確認

今回の検閲では、訓練した結果が得られました。又、整備部隊で要となる整備所・天幕構築は、基本基礎動作を確実に実施することで構築時間を短縮することができました。本検閲で、隊員一人一人が猛暑の中、積極的に実施したことで任務が完遂できました。この練度を維持、向上させ次期の訓練等に繋げます。



故障車両を速やかに整備する隊員

第三〇四基地通信中隊 湯布院派遣隊

第三〇四基地通信中隊湯布院派遣隊（山下三曹）は、七月一日（金）から約三週間、本土最南端の射場である佐多射撃場で実施された対空実射、ドアガン射撃等の通信支援に参加しました。福岡に一泊し、支援組が集合した佐多へ向かいました。実に七時間をかけて佐多へ到着しましたが、待っていたのは湯布院とは比べものにならない、焼けるような日射しと梅雨特有のジメジメとした熱気でした。我々の主要な任務は、射撃訓練部隊に対しての基地通信回線を提供し訓練がスムーズに出来るようすることです。部隊の要望に応じて野外線を張り、電話機の増設を行い、毎朝四時頃に電話機を設置し、電話の交換業務を実施、電話機の故障や、交換機の不調等の原因を探求し三週間の任務を完遂し帰隊しました。非常に良い経験ができ、また機会があれば参加したいです。



部隊の要望により通信回線の構成及び電話機を設置する隊員

平成二十八年年度

前期定期異動

転入者の紹介

特科隊本部

〔富士学校〕(富士)
一尉 麻生 誠

本部長

〔九州福祉〕(自衛隊)
一曹 梅木 和也

第一二二特科大隊

〔第一二二特科連隊〕(旭川)
〔第五陸曹教育隊〕(和歌山) 二尉 切通 勝也
〔別門駐屯地業務隊〕(新潟) 二曹 家村 和孝

第一三三特科大隊

〔第一三三特科連隊〕(日本橋) 二曹 林 健一郎
〔第四特科群〕(北海道) 二曹 清水 貴之
〔第四特科連隊〕(久留米) 三曹 石飛 賢二
〔第五特科連隊〕(久留米) 三曹 那須 昭仁

第一三二特科大隊

〔特科教導隊〕(熊本) 二曹 長田 陽平

第三〇二観測中隊

〔第十四特科連隊〕(松山) 三佐 太田 吉之

第一〇一特科直接支援隊

〔第七特科連隊〕(香取) 三佐 加藤 清博

第一〇三施設直接支援大隊

〔第一〇三施設直接支援大隊〕(鹿屋) 三曹 長野 寿夫

湯布院駐屯地業務隊

〔竹松駐屯地業務隊〕(松山) 二佐 武田 健志
〔第一〇三施設直接支援大隊〕(鹿屋) 准尉 有馬 康吉

第一三四地区警務隊

湯布院連絡班
〔第三三地区警務隊松山連班〕(松山) 二尉 山ノ内 孝太郎

転出者の紹介

特科隊本部

〔西部方面總監部監察官付〕(別府) 三佐 石橋 正
〔別府駐屯地業務隊〕(別府) 二尉 山本 貞彦

本部長

〔中部方面衛生隊〕(伊丹) 二曹 小野 優史
〔第一一二特科大隊〕(富士学校) (富士) 一尉 松元 宏和

湯布院駐屯地業務隊

〔湯布院駐屯地業務隊〕(湯布院) 一尉 樋田 雄一
〔第七特科連隊〕(重光) 二曹 衛生 若林 克信
〔中部方面衛生隊〕(伊丹) 二曹 藤藤 嘉孝
〔第十五後方支援隊〕(那覇) 二曹 佐藤 好美
〔航空学校〕(明野) 三曹 末藤 賢太郎

湯布院駐屯地業務隊

〔湯布院駐屯地業務隊〕(湯布院) 三曹 柏木 里枝
〔第八特科連隊〕(北熊本) 三曹 坂田 達郎
〔特科教導隊〕(熊本) 三曹 奈須 泰良
〔第一空挺団特科大隊〕(宮崎) 三曹 寺園 隆寛

第一三二特科大隊

〔第二特科連隊〕(旭川) 二尉 三上 慎介
〔別府駐屯地業務隊〕(別府) 三曹 長渡 祐二
〔西部方面衛生隊〕(鹿屋) 一曹 佐藤 正幸

第三〇二観測中隊

〔第十四特科連隊〕(松山) 三佐 西 秀弘

第一〇一特科直接支援隊

〔別府駐屯地業務隊〕(別府) 二佐 松井 健一
〔湯布院駐屯地業務隊〕(湯布院) 一曹 片波 秀正
〔西部方面後方支援隊本部付隊〕(自衛隊) 二曹 中原 裕二
〔西部方面後方支援隊本部付隊〕(自衛隊) 三曹 平 賢悟

第一〇三施設直接支援大隊

〔第一〇三施設直接支援大隊〕(鹿屋) 三曹 尾崎 裕子

湯布院駐屯地業務隊

〔飯塚駐屯地業務隊〕(飯塚) 二佐 金端 真一郎
〔第四後方支援隊第二整備大隊〕(那覇) 二曹 吉田 直樹
〔第一〇三施設直接支援大隊〕(鹿屋) 一曹 浅原 浩介

湯布院駐屯地業務隊

〔湯布院駐屯地業務隊〕(湯布院) 一尉 松本 和生

第一三四地区警務隊

湯布院連絡班
〔警務隊本部〕(市之谷) 一尉 松本 和生

退官者紹介

◆本部長 (退職日) 五月七日
湯布院駐屯地業務隊 陸曹長 綾部 英樹
湯布院駐屯地業務隊 曹長 平川 慎市
湯布院駐屯地業務隊 曹長 七三三 市幸
◆第一二二特科大隊 (退職日) 五月十八日
陸曹長 新町 三郎

フォトコーナー



佐伯基地分遣隊サマーフェスタ支援



総合の学習支援(由布高校・佐伯豊南高校)



西部方面隊オピニオンリーダー部隊研修



湯布院温泉まつり行事支援



大分県防衛防災フェア



総合の学習支援(日本理科大学付属高校)



湯布院町内ボランティア清掃



若宮八幡秋祭り支援

定期昇任者

★一等陸尉へ

特科隊本部 相澤 博史
第一二特科大隊 本多 亮一
第一三二特科大隊 津上 武士
田中 秀和
加洋 裕

★二等陸尉へ

第一二二特科大隊 小山 晃弘
第一三二特科大隊 上條 徹
第三〇二観測中隊 西原 幸宏
第一〇一特科直接支援隊 伊東 景仁

★准陸尉へ

本部中隊 田上 英明
深町 春敏
第一二二特科大隊 中村 政二
第一〇一特科直接支援隊 安部 一夫
湯布院駐屯地業務隊 安部 安孝

★陸曹長へ

本部中隊 岡山 邦靖
宮川 豊隆
第一二二特科大隊 池田 直人
第一三二特科大隊 池田 俊一
衛藤 博文
第一〇一特科直接支援隊 野口 裕次
岩持 幸一
湯布院駐屯地業務隊 森口 正幸

★二等陸曹へ

本部中隊 茂田 尚武
第一二二特科大隊 梶原 雄志
梶原 直人
高塚 孝広
高塚 雅文

第一三二特科大隊 青木 英樹
福永 良一
第三〇二観測中隊 佐藤 正幸
第一〇一特科直接支援隊 吉田 英史
佐藤 健二
藤原彰太郎

★一等陸曹へ

本部中隊 黒田 尚吾
第一二二特科大隊 清水 貴之
寺原 浩平
第一三二特科大隊 高山 直樹
中村 敬三
岩男 将樹
勝河信一郎

★二等陸曹へ

本部中隊 加藤公志郎
第一二二特科大隊 三浦 美咲
光武 巧
黒川 太志
東 大輝
北原 諒太
坂田 隆祐
阿南 聖也

★陸曹へ

第一三二特科大隊 見山 大志
小野原史朗
森田 達也
山本 裕也
第一〇一特科直接支援隊 今市 愛理
第三〇四基地通信中隊 山下 亮介
湯布院駐屯地業務隊 井川 力也



定期表彰者

◆第三級賞詞(職務遂行)

特科隊本部 二佐 迫田 雅昭
第一二二特科大隊 准尉 板村 浩
准尉 藤生 敏正
第三〇二観測中隊 三佐 西 秀弘
第一〇一特科直接支援隊 二佐 松井 健一
湯布院駐屯地業務隊 二佐 金瑞真一郎

◆第四級賞詞(職務遂行)

特科隊本部 三佐 前山 勝弘
二尉 山本 貞彦
本部中隊 曹長 藤本 一春
一曹 葛城晃一郎
三曹 藤原 友忠

◆第五級賞詞(職務遂行)

第一二二特科大隊 一尉 榎田 雄一
二尉 木岡 公久
三曹 片山 久一
三曹 末藤賢太郎
三曹 菅原 康裕
三曹 三澤 秀幸

◆第六級賞詞(職務遂行)

第一三二特科大隊 二尉 三上 慎介
二尉 河野 彰博
准尉 奥詔 鉄志
一曹 濱田 彰博
一曹 徳丸 敬祐

◆第七級賞詞(職務遂行)

第三〇二観測中隊 二曹 田上 秀信
二曹 長友真一郎
二曹 中原 裕二
二曹 安田 新一
二曹 高見 恵仁
二曹 松尾 佑真
三曹 緒方 孝樹

◆第八級賞詞(職務遂行)

湯布院駐屯地業務隊 一曹 森 光
第一二二特科大隊 三曹 黒川 太志
湯布院駐屯地業務隊 一曹 森 光

◆第九級賞詞(職務遂行)

特科隊本部 二尉 荒井 植将

湯布院駐屯地業務隊 本部中隊 二曹 迫野 正和
曹長 小野 裕之
第一二二特科大隊 二尉 高島 伸治
一尉 松浦 安和
曹長 若林 克信
一曹 芦刈 誠
一曹 佐藤 好美
三曹 吉武 健次
三曹 寺園 隆寛
三曹 浜田 起夫
三曹 竹下 裕也

◆第十級賞詞(職務遂行)

第一三二特科大隊 二尉 三上 慎介
曹長 赤木 慎彦
一曹 高橋 慎明
二曹 川野 智之
三曹 有村 知大

◆第十一級賞詞(職務遂行)

第三〇二観測中隊 二曹 定田 誠
三曹 山代 誠
三曹 後藤 美晴
三曹 原口 一星
三曹 玉ノ井朋美

◆第十二級賞詞(職務遂行)

第三〇四基地通信中隊 行(一)二 日當 宏美
湯布院派遣隊 本部中隊 三尉 上原 正行
一曹 薬師寺秀典
第一二二特科大隊 一曹 横原 雄志
士長 岩政 希徳
士長 白根 勇樹
士長 中内 和徳
一士 橋本 飛鳥
一士 後藤 将一
一士 白岩 友暉

◆第十三級賞詞(職務遂行)

第三〇二観測中隊 一士 後藤 悠真
一士 中村 勇貴
第一二二特科大隊 三曹 帯刀 貴延

◆第十四級賞詞(職務遂行)

第一二二特科大隊 三曹 帯刀 貴延



慶 弔

◆ご結婚おめでとう

本部中隊 二曹 渡邊 卓也
本部中隊 三尉 三浦 賢和
第一二二特科大隊 三曹 家村 恒和
第一二二特科大隊 三曹 佐藤 慎也
第一三二特科大隊 三曹 古澤 雄太
第一三二特科大隊 士長 吉田 直樹
第三〇二観測中隊 二曹 工藤 貴広
第三〇二観測中隊 三曹 原口 一星
湯布院駐屯地業務隊 行政須賀 勇
医(一)二 窪田 綾佳(旧姓・村尾)



◆御出産おめでとう

本部中隊 二曹 小野 優史(長女・杏莉咲)
第一二二特科大隊 士長 高島 直斗(長女・愛菊)
士長 牧野 紘也(次女・結愛)
第一三二特科大隊 士長 高山 直樹(次男・奏汰)
第一三二特科大隊 三曹 杉田 久志(長男・理人)
第一三二特科大隊 三曹 小宮 章雄(長女・奈子)
第一三二特科大隊 三曹 白石 章雄(長女・通香)
第三〇二観測中隊 三曹 和田 英樹(次男・悠希)
第三〇二観測中隊 二曹 白杵健志郎(次女・莉乃)
駐屯地業務隊 行(一)二 井川 力也(長女・伊織)

◆お悔やみ申し上げます

本部中隊 准尉 神崎 孝(祖母)
本部中隊 曹長 小野 正和(養母)
本部中隊 曹長 虎清 智光(祖母)
本部中隊 一曹 幸 龍次(実母)
本部中隊 一曹 葛城晃一郎(義母)
本部中隊 一曹 高田 隆弘(祖母)
本部中隊 一曹 後藤 潔彦(兄)
本部中隊 一尉 後藤 亮一(祖母)
本部中隊 一尉 小島 祐二(実母)
本部中隊 三曹 手島 啓一(祖父)
本部中隊 三尉 小野田啓一(祖父)
本部中隊 三尉 河野 文夫(実父)
第一三二特科大隊 一曹 青木 秀樹(実父)
第一三二特科大隊 一曹 富田 正敏(実母)
第一三二特科大隊 三曹 宮尾 一貴(祖母)
第一三二特科大隊 一曹 木村 淳一(義父)
第一三二特科大隊 一曹 石井 秀樹(義父)
第一三二特科大隊 一曹 吉田 英史(祖母)
第一三二特科大隊 二曹 倉本 充也(義父)
第一三二特科大隊 二曹 泥谷 貴裕(祖父)
第一三二特科大隊 二曹 大城 正之(祖父)
第一三二特科大隊 三曹 白杵健志郎(儀祖母)
第一三二特科大隊 三曹 原口 一星(祖父)
第一三二特科大隊 三曹 軸屋 裕太(祖父)

私のお父さん

特科隊本部中隊

二 成松 哲也
長女 成松 柚香

私のお父さんは、じえい隊にとめています。私たちが湯布院に住んでいるとき、お父さんは、雪がたくさんつもっていた。いつも自転車で行っていました。その時、私はとても小さかったのであまりおぼえていないけれどとても寒くても、大雪がふついても自転車で行ってたのです。いなかと思いません。

熊本地しんの時も、夜中なのに行かなければならないと言っていて、すぐに出かけていきました。それからしばらくして帰って来て、とても心配しました。「もしかしたら熊本に行くかもしれない」と思っ、私はとても心配になりました。でも、それがお父さんの仕事だし、地しんのひ害があった人たちが、少しでも楽になれるといいな

と思いました。そして何日かたつと帰ってきました。その時私は、じえい隊の仕事は、とても大変なんだなと思います。私も、たくさん勉強して、大きくなったら人だにやくだつ仕事をしたいなあと思いました。お父さん、これからも体に気をつけてお仕事がんばってね。



白毛又で大好きなお父さんの言葉
長女 柚香さん

よか趣味

第三六八施設中隊

一 宝来 優佑

私の趣味はランニングです。きっかけは足が速くなりたいと思い、中学・高校と陸上部に所属したことです。たくさん練習を積んで試合に臨み、タイムを伸ばしていくことが楽しくなり、試合の時に前を走っている選手を抜いた時の嬉しさがたまらず、今でも走る事が楽しくて趣味として走っています。



よか趣味

第三〇二観測中隊

士長 平山 芳依

私の趣味は、美術館・博物館巡りです。特に興味があるのは西洋・東洋絵画と中世日本の武具や調度品などです。

面白そうな展示品を探して実物を鑑賞し、自分好みの作品に出合う瞬間が一番楽しいです。今年は夏季休暇を利用して名古屋の徳川美術館や名古屋市立美術館などにも行きました。美術館賞という「難しそ〜」「堅苦しい」と思われがちですが、深い知識がなくとも優れた美術品には理屈抜きで人の心をつかむパワーがあります。美術館の中だけでなく、公園にある

銅像やデパートの画廊など、身近なところに沢山の「美術作品」が溢れています。あまり固く考えずに楽しめるのもこの趣味のいいところです。

しかし最近はまだお気に入りの作品を眺めるだけでなく、作品の背景も知りたいと思うようになり



休暇を利用して美術館等を巡る鑑賞者の
平山士長

ました。その作品が作られた時代や当時の状況を知ること、作者が作品に込めた想いをより感じ取れると思います。

今後は、興味のある作品だけでなく、その背景を含めた勉強して鑑賞に役立てていきたいです。



私のお父さん

第一〇三施設直接支援隊

長男 井上 克秀
長女 井上 佳穂

私は負けず嫌いな性格のため、勝ちたいと思ったときに負ける事がとても悔しいと思ってしまう性格です。高校生時代の試合では長くても十キロまででした。大学生時代にハーフマラソンに出場した際、経験したことのある十キロまではなんなくいきましたが、その先は未知の世界で不安だったものの、その世界に飛び込んだときは、「ワクワク」・「ドキドキ」する瞬間がたくさんありました。次はフルマラソンに出場して新たな世界を走り、自分の目標を高めて、趣味で走りを楽しみたいです。



部隊内の競技会に参加し刀走後の
宝来士長



顔です。私はどちらの顔も好きです。家族に対して優しいのはもちろん、忙しくて毎日毎日疲れて帰ってきたり、仕事で頭がいっぱいで悩んでいるときもたくさん見てきたけど、やっぱり仕事に夢中になれる父はすごいと思うし、私ももうすぐ社会に出る身として、その立場から見ても仕事に対するプライドや大きな心は本当にかっこいいと思っています。未来に向けて、不安があるけれど、

父の仕事に対する姿勢は私に勇気を与えてくれます。働くことは大変なことだと思うけど、期待もしています。こういう気持ちになるのは、きつと父の姿があつたからだだと、今ふと思えます。どんなになつてくても、きちんと仕事をこなす、そんな父は憧れでもあり、いつか越えたい存在です。自衛隊という国の平和を背負う責任重大な仕事だけど、それを誇りに思い、鮮やかな緑の服を着ている姿は、誰よりもかっこいい私の父です。

私のお父さん

第一〇三施設直接支援隊

長男 井上 克秀
長女 井上 佳穂

突然ですが、私のお父さんは二つの顔を持っています。一つは家族に対して優しく微笑んでくれる顔、もう一つは仕事に対して強く真剣な



家族に優しく仕事に対し強く真剣な顔を
持つお父さんに憧れる長女佳穂さん